

会議結果のお知らせ

令和5年度第2回宮古地域づくり協議会を次のとおり開催しました。

令和5年11月21日

宮古地域づくり協議会

1 開催日時

令和5年10月25日（水）13時30分から17時30分まで

2 開催場所

宮古市市民交流センター 創作スタジオ

3 議題

(1) 令和6年度宮古市地域創造基金事業プレゼンテーション

(2) 令和6年度宮古市地域創造基金事業選考について

4 会議の概要

- ・令和6年度宮古市地域創造基金事業の宮古地域分の地域活動枠（6件）について、事業選考を行った。

5 問い合わせ先

宮古地域づくり協議会事務局 宮古市企画部企画課地域創生推進室

電話 0193-62-2111（代表） 内線 4620 0193-65-7056（直通）

令和5年度第2回宮古地域づくり協議会

- 1 開催日時 令和5年10月25日(水)13:30~17:30
- 2 場所 宮古市市民交流センター 2階 創作スタジオ
- 3 出席者 戸由忍会長、中崎則男副会長、
小野寺靖委員、金野侑委員、佐可野瑞穂委員、小地沢一郎委員、
大上敦子委員
- 4 欠席者 畠山初男委員、八島彩香委員、佐々木夏希委員、畠山亜紀委員、
関口健委員
- 5 発表者 (1)昭和通りのおかみさんもてなしたい
佐々木慶子、松原安子
(2)僕らの夏祭り実行委員会
伊藤峻
(3)津軽石駅にぎわいクラブ
白石雅一、野崎政博
(4)旧赤前小学校利活用検討委員会
白石雅一、成田邦敏
(5)田の神自治会
宮本勝吉
(6)みやこヨガJAM実行委員会
成田ふみえ
- 6 事務局 企画部企画課 箱石剛課長、工藤真奈美地域創生交流推進室長、
千葉志美主事
- 7 傍聴者 なし
- 8 議事等 13:30 室長が会議の開会を宣言
13:31 会長挨拶
13:35 協議
17:30 室長が会議の閉会を宣言
- 9 結果 令和6年度地域創造基金事業実施団体によるプレゼンテーションを受け、宮古
地域づくり協議会委員が選考を行い、5事業が採択、1事業が不採択となっ
た。
協議の内容及び基金の決定額は別紙のとおり。

別紙・プレゼンテーションに対する質疑応答

質問・意見	回答
<p>【ウェルカムフラワーが迎える街並み創出事業】 (委員) 事業に参加している中学生は広く募集しているのか。</p> <p>(委員) 参加する学校を特定しているのには理由があるか。</p> <p>(委員) ボランティアで中学生を募集していると思うが、毎回同じ顔ぶれか。</p> <p>(委員) ハンギングバスケットを作成した後の維持管理はどのようにしているのか。</p> <p>(委員) 以前の発表で、会員は多いものの実際に事業を進めているのは会長と事務局長の2名だと伺った。今年度に入って、運営体制に変化はあったか。</p>	<p>(昭和通りのおかみさんもてなしたい) 宮古市立第一中学校の生徒に声がけしている。</p> <p>(昭和通りのおかみさんもてなしたい) 送迎等ができないので、歩いて来られる一中の生徒に限定している。</p> <p>(昭和通りのおかみさんもてなしたい) 半分以上が初めて参加の方である。</p> <p>(昭和通りのおかみさんもてなしたい) 会長と事務局長の2人で分担して水やりをしている。</p> <p>(昭和通りのおかみさんもてなしたい) 体制に変更はない。何とかやりくりしている。</p>
<p>【僕らの夏祭り】 (委員) イベントを実施してどんな思いが生まれたか。</p> <p>(委員) 宮古に外から人が入ってくる良い機会だと考える。今後も継続するための工夫があれば教えてほしい。</p> <p>(委員) 大学生と地域の子もたちとの関わりについてなにかエピソードがあれば教えてほしい。</p>	<p>(僕らの夏祭り実行委員会) 4年ぶりの開催となり、達成感が生まれた。久しぶりに宮古に来ることができた人たちは喜んでいた。</p> <p>(僕らの夏祭り実行委員会) 僕らの夏祭りの始まりは、僕らの夏休みプロジェクト(首都圏の大学生が宮古市内の小学生と交流する事業)である。 今年、4年ぶりに僕らの夏休みプロジェクトの開催を検討したところ、繋がりがなくなり実施できなかった。 僕らの夏祭りを続けていくためにも、まずは僕らの夏休みプロジェクトを実施できるように取り組んでいきたい。</p> <p>(僕らの夏祭り実行委員会) 事業の実施により、交流人口が確実に増えていると感じる。 宮古や宮古近隣への移住者も増えている。</p>
<p>【津軽石駅にぎわい事業】 (委員)</p>	<p>(津軽石駅にぎわいクラブ)</p>

<p>総会資料を見ると、この補助金の他に別の補助金も入っているようだ。それぞれの内訳を教えてください。</p>	<p>地域力向上支援補助金は、駅舎の清掃・草刈りなどの維持管理に充てている。 この補助金はイベントに充てている。</p>
<p>(委員) 事業全体計画書を見ると、来年度は「ボランティア養成」に取り組む予定となっている。具体的にはどのようなことに取り組むのか。</p>	<p>(津軽石駅にぎわいクラブ) 子どもたちと関わりながら取り組んでいる事業。参加してくれている子どもたちは、徐々に事業を進められるようになってきているので、今後も地域の人を巻き込んで実施していきたい。</p>
<p>(委員) 小学生が出店していたと思うが、そこで販売している商品は事業者からの提供か。</p>	<p>(津軽石駅にぎわいクラブ) すべて仕入れているので、子どもたちが一生懸命販売している。</p>
<p>【廃校利用と新たな事業創出を考える講演会】</p>	
<p>(委員) 地域力向上支援補助金を来年度も活用するのか。補助金それぞれのすみ分けを教えてください。</p>	<p>(旧赤前小利活用検討委員会) 地域力向上支援補助金は来年度も申請済。今年度も開催した「ファミリーわくわくフェスタ」の実施を予定している。目的は、赤前に人を集めること。 地域創造基金は、今回申請した講演会の実施を予定している。廃校について市民全体で考えるきっかけづくりにしたい。</p>
<p>(委員) 校舎の所有者に許可をいただいて事業を行っているのか。</p>	<p>(旧赤前小利活用検討委員会) 旧赤前小学校の利用については、教育委員会総務課の許可を得て使用している。</p>
<p>(委員) どうして講演会を実施しようと思ったのか。</p>	<p>(旧赤前小利活用検討委員会) 地域が校舎の利活用について考えている事例は少ない。他の団体等へも周知するようにしたい。</p>
<p>(委員) 廃校利用の考え方を教えてください。</p>	<p>(事務局) 廃校舎の利活用は、①役所内での活用②地元での利活用を検討する方向で進める。地元での活用希望がなければ、公募する流れとなる。 それでも応募がなければ解体を検討することとなる。</p>
<p>(委員) 最終的な方針決定はいつ頃になるのか。</p>	<p>(旧赤前小利活用検討委員会) まだ要望書の回答が来ていないので、どうしようかと思っている。</p>
<p>【地域交流事業】</p>	
<p>(委員) テントの購入ということだが、その先にあるのは交流の活性化だと思う。 今後の活用について、検討する機会はあるか。</p>	<p>(田の神自治会) これまでの経験から、子どもの声がすると人を引き付けられることが分かったので、集まれるテントが欲しいとなった。</p>

	<p>イベントについては、子ども会の意見を伺って進めている。</p>
<p>(委員) 自主防災組織の結成について考えているか。</p>	<p>(田の神自治会) 田の神自治会は、昔から住んでいる人が少なく声がかけが難しい。いずれ作りたいという思いはある。</p>
<p>(委員) 自治会費は、1施設いくらか。</p>	<p>(田の神自治会) 企業や施設であっても、一般の会費と同じく月400円。</p>
<p>(委員) 田の神公園は広い公園なので、東屋のようにテントをもっと活用してはと思う。</p>	<p>(田の神自治会) 東屋の建築も考えたことがあったが、いつできるかわからないという回答だった。</p>
<p>【みやこヨガJAMin浄土ヶ浜】</p>	
<p>(委員) 今年度のイベントの予算はどのように調達したのか。 ぼやにかさんが進めている事業のように感じたが、実行委員会として行うと社会性・公益性が求められると思う。工夫している点はどこか。</p>	<p>(みやこヨガJAM実行委員会) 今年度のイベントの予算は、ぼやにかからの持ち出し。主な支出はチラシの作成。ヨガは1レッスン500円の参加料を徴収した。余った分は寄附した。 社会性・公益性については、非常に弱い部分だと思う。試行錯誤をしている。宮古の市内だけだと小さくなってしまう。</p>
<p>(委員) 1クラスの人数はどのくらいか。</p>	<p>(みやこヨガJAM実行委員会) 人数制限は設けない。</p>
<p>(委員) 市内の講師はどのような方々か。</p>	<p>(みやこヨガJAM実行委員会) ぼやにかで教えているインストラクターと養成講座を卒業した方。</p>
<p>(委員) SNSでのPRも予定しているか。</p>	<p>(みやこヨガJAM実行委員会) 行う予定である。</p>
<p>(委員) 砥石浜での実施は難しいと思うが、具体的にはどのあたりで想定しているのか。</p>	<p>(みやこヨガJAM実行委員会) レストハウス前の平らなところ。</p>
<p>(委員) ぼやにかは営利団体なのか。</p>	<p>(みやこヨガJAM実行委員会) ぼやにかは営利団体である。実行委員会のメンバー3名は、ぼやにかの社員。その中で実行委員会を立ち上げている。</p>
<p>(委員) 内訳書について、このとおりにはないという発言があったが、そうであれば審査のしようがない。</p>	<p>(みやこヨガJAM実行委員会) 改めて計算したところ、今回申請した31万5千円は広告料だけで使い果たしてしまう。</p>

<p>(委員) そのほかの予算はどこから支出するのか。</p>	<p>(みやこヨガJAM実行委員会) チケット代等の調整により、自主財源を増やして対応したい。</p>
<p>(委員) スタッフの弁当代とあるが、食事はそれぞれで用意ではないのか。</p>	<p>(みやこヨガJAM実行委員会) イベントの場合、外に出ることができないので実行委員会で用意している。食糧費なので対象外経費としている。</p>
<p>(委員) 新聞の折り込みについては、広報みやこの同時配布で対応する予定はないのか。</p>	<p>(みやこヨガJAM実行委員会) 宮古市内は広報、近隣市町村については新聞への折り込みを予定している。</p>
<p>(委員) このイベントは前々から予定していて、この基金があることを知り申請した流れになるのか。</p>	<p>(みやこヨガJAM実行委員会) そのとおり。</p>

別紙・事業選考に係る協議

意見	結果
<p>【ウェルカムフラワーが迎える街並み創出事業】</p>	<p>採択 基金額500,000円</p>
<p>【僕らの夏祭り】</p>	<p>採択 基金額220,000円</p>
<p>【津軽石駅にぎわい事業】</p>	<p>採択 基金額173,000円</p>
<p>【廃校利用と新たな事業創出を考える講演会】 (委員) この講師である必要性が見えないので、旅費や宿泊費は縮減できるのでは。</p> <p>(委員) 謝金については、市の基準に照らし合わせて事務局に判断をお願いしたい。</p>	<p>採択 基金額280,000円(▲40,000円) ※意見あり</p>
<p>【地域交流事業】 (委員) 採択で良いと思うが、この補助金を使うということであれば「テントを買って地域がどう変化したか」を踏まえた報告をしてほしい。</p>	<p>採択 基金額499,400円 ※意見あり</p>
<p>【みやこヨガJAMin浄土ヶ浜】 (委員) 実行委員会名で申請があったものの、実態は営利企業がイベント開催のための補助を申請したように見える。</p> <p>(委員) 私は厳しい点数を付けた。やる気は感じられたので、思いが継続すれば後々実現できると思う。</p> <p>(委員) 本当に実現できるか不安に思った。</p> <p>(委員) 私も厳しく採点した。他の団体の二番煎じなのではないかと思う。予算の話になったときに、「自主財源を持ち出しできる」と断言されていたので、実は予算があるのではと思った。</p> <p>(委員) 講師についても、企業側に関係のある方だった</p>	<p>不採択 ※意見あり</p>

ので気になった。

(委員)

実行委員会のメンバーも少ないので、実行委員会として成り立っているのか気になった。

(委員)

公益性というよりは、企業側の利益につなげる目的があるように感じた。